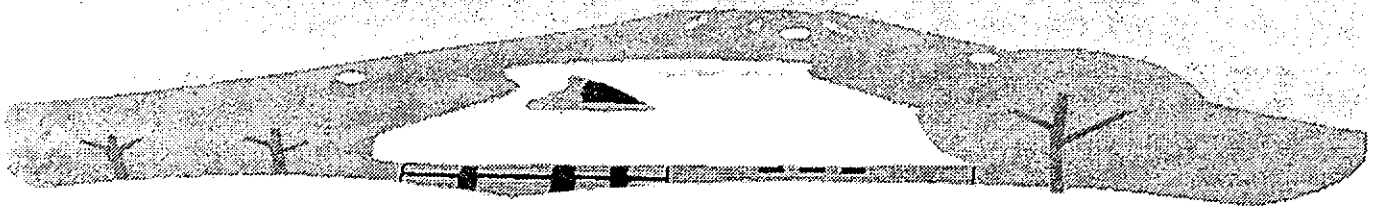


H S K — なんれん おとふけ NO 45	昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻第334号 2000年1月10日 隔月10日発行 (1部100円) (会費に含まれています) 編集 財団法人北海道難病連音更支部 発行 北海道身体障害者団体 定期刊行物協会 (HSK)
-------------------------------	---



- ♡ 年頭のご挨拶
- ♡ クリスマス・パーティを終えて
- ♡ 保健・福祉に関する懇談会及び相談会のご案内
- ♡ 澤本さん 日本一周マラソンを完走
- ♡ どんぐりの家作業所、事務局だより
- ♡ ばらの会通信 (リウマチ患者会)



年 頭 の 挨拶

支 部 長 菅 原 貞 助

皆さん、明けましておめでとうございます。

本年も昨年同様ご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。昨年一年間の社会の動向を顧みますと政局の動向、金融機関の不正、汚職、幼児の誘拐、銀行強盗など、さらにその先頭に立ち向かい社会不安の解消に努力すべき警察までがあつた状態では、あいた口がふさがらない思いです。昔から政治家の中には清貧に甘んじて、時には私財を投げうってまでも社会の為に尽くされた方が少なからずおられたと聞いております。一刻も早い社会の皆さんの公僕であつて欲しいと思います。

皆様のたまり場である「どんぐりの家」も開設以来早くも八周年を迎えることができました。当時を顧みますと、すべてが右往左往の手探り状態でしたが事務局の穀内さんご夫妻のご理解あるご協力により土地、建物の使用許可をいただき、今日の物品の提供受け入れ、販売等もできるようになるなど大きな貢献をして下さいましたことに対し心から感謝申し上げます。その外公私別なくご協力下さいますボランティアの方々、物品の供用に快く応じて下さいます一般町民の方々に対しましてもありがたく厚くお礼申し上げる次第であります。

難病連音更支部の会員としては、同じ仲間である同志が集い語り合える場所が欲しいという切実な願いがあります。役場民生部、福祉課にも機会あるごとに陳情しております。どうか皆様の一層のご支援をお願いを致します。

難病連音更支部の皆さん一人一人の力は弱いけれど、小さな患者会同志が大同団結するならば、いつの日かこの悲願が達成できうると信ずる次第です。どうか風邪をひかずに元気に2000年、平成12年の新年を迎え、さらに充実した日々を送られますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

.....
保健・福祉に関する懇談会及び相談会のご案内
.....

主 催 (財) 北海道難病連音更支部

共 催 北海道医療社会事業協会東支部

日 時 2000年2月13日(日)

12:30~ 受 付

13:00~15:00 懇 談 会

15:00~16:00 個 人 相 談 会

会 場 音更町共栄コミセン 二階研修室
(音更町木野西通17丁目1 Tel 30-4733)

参加費 無 料

参加対象 難病患者・障害者と家族・一般

相談員 音更町介護支援センター

堀 田 昇 ソーシャルワーカー

斉 藤 美 和 保 健 婦

帯広北斗病院医療社会福祉科

ソーシャルワーカー 2名

難病連音更支部役員

* 参加希望者は直接会場へお越し下さい

* 問い合わせ先

難病連音更支部 Tel・FAX 31-8723 まで

☆☆ クリスマスパーティを終えて☆☆

第9回難病連音更支部主催のクリスマスパーティが、12月5日「すずらんど」で行なわれました。当日は天候にも恵まれ、会場もクリスマス一色にかざられムードも最高です。

1時から、支部長の挨拶、そして来賓の音更町長（代理 太田民生部長）の祝辞をいただきました。また、保健センター宮川総括主査、大風社協副会長、藤代緑南中教頭、十勝支部成田事務局長と2名の役員の方など、多くのご出席をいただきましたので来賓として紹介させていただきました。

いよいよお楽しみタイムの始まりです。「帯広踊りの会」の皆さんの“よさこい”小さな小さな女の子がかわいらしく注目の的でした。“和太鼓”は力強くズシンとお腹に響きました。次に、「帯広青年合唱団」の美しいハーモニーを聞き、会場の方とクリスマスソングや四季の歌などをハモったりと良い雰囲気です。「YOU・遊・とかち」の皆さんの“よさこいソーラン”へと続きます。準備は整ったものの音楽が流れないというハプニングもおきましたが、ラジカセの登場で皆さん楽しそうに踊っていました。会場の皆さんにも教えて一緒に踊ったり、手話も一緒に習ったり。

交流タイムに入り、お茶を飲んだり、プレゼントの交換、アイスクリームやケーキ、ポップコーン、みかんなどを食べながら交流していました。食べているうちに、大谷短大人形劇サークル「ありんこ」の皆さんによる人形劇や手遊び他が行なわれ、小さな子はもちろん大人も充分楽しめて良かったです。

最後に、よつ葉乳業音楽部「フォークローバーズ」の皆さんによる生バンド演奏、中島みゆきの“サンタが街にやってきた”他、すてきな声でした。エレキギターでベンチャーズのなつかしい曲など青春時代を思い出した方もいたでしょう。感動しました。

最後の最後は皆さん期待の抽選会、フランスワイン等が当たって大いに盛り上がりました。今年も190名もの参加者あったということで盛大のうちに閉会しました。お手伝いいただいた、たくさんのボランティア役員の皆さんお疲れ様でした。（宮内記）

メッセージ 北海道議会議員 佐々木恵美子様より

難病連音更支部クリスマスパーティが多くのボランティアの皆様のご支援のもと盛会に行なわれますことを心よりお祝い申し上げます。
私も参加させていただこうと考えておりましたが道議会の関係で出席できませんことをお許し願います。
難病患者の医療の充実のため頑張りますことを申し上げメッセージといたします。
北海道議会議員 佐々木 恵美子

日本一周激励マラソン完走す!

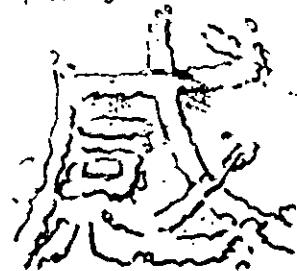
全国の難病患者を励まし、各都道府県庁に難病に関する要望書を手渡して下さったマラソンランナーの沢本和雄さんが、昨年11月29日予定通り日本一周を無事終えました。

その、沢本さんの走った足跡を消さないよう、私達は引き続き心の足で一步一步患者会運動を進めて行きたいと思ひます。

沢本さんより年賀状が届いています。

1999年7月25日北海道稚内宗谷岬をスタート.....

いくつ町や村を通ったろう
 いくつ峠を越えたろう
 いくつ橋を渡ったろう
 どしゃぶりの雨に出会いました
 猛烈な風の台風に出会いました
 36度の暑さに出会いました
 マイナス4度の寒さと雪に出会いました



心地いい日差しとそよ風に出会いました
 かわいい草花や小さな虫・小鳥たちに出会いました
 森にかこまれた深い谷ぞう清流に泳ぐ魚たちに出会いました
 立ち並ぶ高層ビル・国道を切れ目なく走る車に出会いました
 るすなによりもなによりうれしい出会いがありました
 雨の中で、風の中で、暑さの中で、寒さの中で
 待っていてくださった患者さんとご家族との出会いです
 感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました
 心がふるえるほど感動する出会いでした



がんばってくださいと握手を交わし
 がんばってくださいと励ましの言葉をいただく
 励まし合える出会いが心の底からうれしい
 励まし励まされて128日間
 励まし励まされて6,200km
 励まし合う心を一つにして走った
 「がんばれ難病患者日本一周激励マラソン」

全国各地で患者さんとご家族をはじめ、様々な人々からいただいた数えきれないほどの声援・励ましが私の背中を後押しして、無事11月29日札幌のゴールへと導いてくださいました。

ゴールした翌日、いつものようにジョギングに出かけました。4ヶ月ぶりに会う原野、川、海、草や木、遠くに見える手稲山が私を温かく迎えてくれました。白い雪の上に一步一步足跡を残しながら.....

日本一周の感動の日々を一つ一つ思い出しながら.....
 だれもない広い海岸の雪の上に、木の枝で文字を書きました。
 今の私の気持ちを表わす言葉.....「感謝」

勇気とかたやさしさをかかえられないほどいただきました。
 たくさんの、たくさんの心に残る出会いを心から感謝申し上げます。

〒006-0820 札幌市手稲区前田10条19丁目4-16 澤本和雄
 TEL・FAX 011-683-6116

“どんぐりの家”作業所だより

作業所が一カ所増えました。いままでの作業所では雑貨類の点検、修理、値札付けや買い物袋整理、値札作り他をやっています。

新作業所では、衣類の仕分けを主にやっています。それぞれ身体状況や得手、不得手に合わせて作業をしています。冬は室内だけの作業しかできませんが、暖かくなりましたら外での作業内容も可能になるので、もっと選択の幅が広がると思います。

* 作業所に通所希望の方は、常時登録受けをしていますのでご連絡下さい。

Tel, FAX

***** 事務局より *****

〇ご寄付、ご寄贈ありがとうございました。

クリスマスパーティに、たくさんのご寄付、ご寄贈をいただきました。お蔭様で盛会のうちに終了することができました。ありがとうございました。

- ・音更町様 10,000円
- ・音更町社会福祉協議会様 5,000円
- ・よつ葉乳業(株)様 オレンジ、りんごジュース240本

〇4月に支部総会と春のリサイクルバザーを開催する予定です。日程が決まりしだいお知らせします。

ばらの会通信

2000年1月 第1号発行

☆はじめに

新時代二十一世紀に向けて、西暦二〇〇〇年がいよいよスタートしました。世界中で心配されていた「Y2K」、いわゆる二〇〇〇年問題も大きなトラブルもなく無事に新年を迎える事ができました。水道・電力・ガス等のライフラインのトラブルに備え、二〇〇〇年対応グッズを取り揃えていた方も、たくさんいることでしょう。私も、懐中電灯を片手にカウントダウンの一瞬を過ごした一人です。

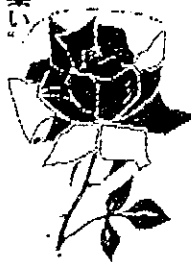
ご家族の中には、年末年始も二〇〇〇年間應對のために勤務されていた方も少なくないのではないのでしょうか。

無事に新年を迎えることが出来たのも、兼戒にあたってくれた多くの方々のおかげでしょう。感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、二〇〇〇年を迎え、気持ちも新たに私達「ばらの会」も、力強く活動を開始します。まずは、ミレニアム第一号「ばらの会通信」をお届けします。

☆「ばらの会」誕生

「リウマチ患者の集い」
見る人の心をつかんで離さない魅力に溢れる、ばらの花...
甘い香りを持つ、この美しい花は、大切な人への贈り物、歌、絵画、入浴剤や料理、美容にと、幅広い分野で、活用され、人々に愛され続けています。
見る人の心を和ませてくれるばらの花、情熱的なばらの花...この花のように、私たちが、リウマチの痛みに負けることなく、力を合わせて活動していきましょう。



☆これまでの活動状況

- 9月21日
「慢性リウマチ患者の集い」
音更町、福祉協議会、難病連、ボランティアの皆さん等、多くの方々からの大きな支援により第一回の集いを開催することができました。
- 10月28日(第2回)
会の名称「ばらの会」に決定！
さらに、会の今後の活動内容について話し合いました。
- 11月25日
薬についての研修会開催
各自の常用薬を持ち寄り、薬の種類、薬の副作用等について、話し会いました。各自の経験談や通院している病院から出された様々な資料も、大変参考になりました。有意義な情報交換の場になったと思います。
- 12月16日
「フラワーアレンジメント教室」開催
講師：大浦先生
私たちのシンボル「ばらの花」や季節の花を取り入れながら、クリスマス、お正月用の花の生け方を学習しました。

☆今後の活動

- 1月27日「新年会」
場所：総合福祉センター
時間：10時30分～12時30分
費用：一、五〇〇円
内容：食事、ゲームなど
- 2月24日「手作り封筒講習会」
場所：総合福祉センター
時間：10時30分～12時
費用：無料
持物：封筒にしてみたい、手持ちのカメラや、ちらし、ポスターなど
ハサミ、定規
- 3月23日「カラオケ、お食事会」
場所：常広ホテルバコ
時間：11時～14時
大きな声でストレス解消しましょう。

問：合わせ先
ばらの会連絡係
岡部 牙子
デンワ
三二一四八七八



今冬は、例年になく大雪で、過去20年間で2番目の積雪量を記録しています。除雪が追いつかず、路面状況もかなり悪くなっています。外出時は充分注意しましょう。4月27日開催の定例会で、4月以降の計画を立てます。希望の活動案を考案しましょう。

— H S K — なんれん・おとふけ —

編集人 (財)北海道難病速音更支部 殺内 さかえ

音更町
TEL・FAX

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

2000年1月10日 通巻第334号

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
